

第1回起草会合議事概要メモ

日 時：平成17年7月6日（水）10：00～12：00

場 所：国立感染症研究所共用第一会議室

出席者：牛島専門委員、春日専門委員、関崎専門委員、西尾専門委員、藤川専門委員

議事概要

食中毒原因微生物のリスク評価指針の策定に係る起草作業

春日委員から提出された論点メモ、目次案（イメージ）をもとに議論。議論の結果、以下のことを確認した。

1. 次回の専門調査会に論点メモ、目次案（イメージ）を提示し、これをたたき台に議論をしていただき、専門調査会としての指針策定の方針を固めていってもらうこととする。
2. 論点、目次案について意見があれば、事務局まで連絡することとする。
3. 次回専門調査会までに論点、目次案について検討するため、再度会合を持つ方向で日程調整を行うこととする。
4. 専門調査会において具体的なリスク評価の事例紹介を早期に行った方が良いのではないかとされ、このことについて座長に相談することとする。また、次回専門調査会については、8月上旬で日程調整を行うこととされた。

○主な議論

- ・微生物産生毒素をハザードとして考えるかどうか。

→細菌、ウイルス、原虫、微生物産生毒素をハザードとして考えるべきである。

- ・ハザードに多様性があるため、それぞれのケースに即した評価指針を作ることを視野に入れるべきではないか。

→個別のハザードの取り扱いについては、評価対象の問題や評価方法が多様すぎるため、評価指針に盛り込むのは困難。むしろ、管理省庁との関係やリスク評価手順に関する手引き書としても活用できるものが良いのではないか。ただし、評価指針を作成するに当たって、問題や評価方法が多様であることや、具体的にどのような結果の例があるのかを十分認識する必要がある。

- ・具体的なリスク評価の例示が必要ではないか。

→個別の評価事例について別添で紹介するのが良いのではないか。

その他

- ・ウイルスの場合、食品そのものに元々の汚染がある場合（E型肝炎等）と、環境からの食品汚染（ノロウイルス、A型肝炎等）が考えられるため、その点の考慮が必要である。

→ウイルスだけでなく、他の微生物についてもそれらの点について考慮が必要のため、その点について論点案に盛り込むこととした。

- ・十分なデータや時間が得られない場合の対応について考慮が必要なのではないか。

→論点案に盛り込むこととなった。

- ・諮問に関するルール作りが必要なのではないか。

→論点案に盛り込むこととなった。

以上

第2回起草会合議事概要メモ

日 時：平成17年7月22日（金）13：00～16：00

場 所：国立感染症研究所共用第三会議室

出席者：岡部専門委員、春日専門委員、関崎専門委員、西尾専門委員、藤川専門委員

議事概要

食中毒原因微生物のリスク評価指針の策定に係る起草作業

第1回起草会合で作成した論点メモ、目次案（イメージ）をもとに議論。

1. 第1回起草会合で作成した論点メモについて、構成を見直した上で、新たな追加事項を挿入した。
2. 第1回起草会合で作成した目次案（イメージ）について、想定されるリスク評価に係る項目を網羅したものであることを再確認した上で、構成を見直し新たな追加事項を挿入した。
3. 評価指針については、まずはすべての評価対象に共通したものの策定を目指すことを再確認した。
4. 次回の専門調査会において論点メモ・目次案（イメージ）を提示し、起草会合での議論を基に内容を説明し、これをたたき台として議論をしていただき、専門調査会としての指針策定の方針を固めていってもらうことを再確認した。

○主な議論

- ・食中毒菌について、毒素産生型と感染型に分けて考えた方が良いのではないか。

→まずはすべての評価対象に共通したものを策定するべき。

- ・関係省庁との連携について、農林水産省からも具体的な調整を行う動きがある。指針では食品安全基本法、関係府省申し合わせ（16年2月18日）に沿った書き振りにとどめ、こうした動きを見極めつつ、必要な肉付けを行うことが現実的な対応と思われる。

→管理省庁との適切な連携が重要であることは明記しておくべきである。

- ・4つのコンポーネントの訳語をどのようにするか。

→定義の中で明確にするべきである。できれば適切な訳文をつけることとする。

- ・バイオテロはリスク評価の対象とするべきか。

→本専門調査会の責務ではないと考え、対象としないこととする。

（その他）

- ・データが十分でない場合に、使用できるデータの具体例や、新たにふさわしいデータが入手できた場合の対処方法について、指針に明記するべきである。

- ・論点メモに示した微生物の特性については、指針の序論（緒論）に記述する方が良い。

以上